

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	840	交流拠点施設維持管理事業	会計	01	一般会計	
基本施策	66	文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	款	02	総務費	
施策	2	指定管理者制度の導入	項	01	総務管理費	
			目	06	企画費	
			細目	104	交流拠点施設維持管理事業	
			細々目	01	交流拠点施設維持管理経費	
基本計画該当頁	208	担当部課	コード	700100		評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	2	名称	大山田支所総務振興課		福永保	連絡先
					47 - 1150	(内線) 230

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)	
	交流拠点施設(伊賀の国大山田温泉「さるびの」)の利用客、従業員、地域住民	施設の利用客は、都市部及び農村部の地域間交流、子どもから老人までの世代間交流ができ、温泉の効果及びスポーツ施設利用により健康の増進が行える。率の高い地域の高齢者を雇用し、従業員は、生きがいがある。地域住民は、施設周辺の景観整備、また転作田や休耕田を利用するなど、企画、実行し、やる気がうまれる。	
	(※対象件数)		
開始年度	平成	年度	関連事業
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等
			温泉法、公衆浴場における衛生等管理要領、伊賀市温泉活用施設の設置及び管理に関する条例
事業内容	交流拠点施設(伊賀の国大山田温泉「さるびの」)の運営及び管理	状況変化等	伊賀の国大山田温泉「さるびの」は、オープン以来、良質の「湯」と恵まれた自然、大山田温泉福祉公社の試行錯誤の運営努力によって、現在まで順調に経営を行い、たくさんの人々に愛される施設になっている。しかし、平成11年4月にオープンし、予想以上の利用があり、施設の許容範囲をはるかに超え、平成16年10月には、浴室の増築を行った。そして、予想以上の施設の利用頻度で、施設の傷みが多くみられ、その度に修繕を重ねている。今後、さらに施設の修繕が見込まれる。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
年間開館(営業)日数	日	目標	315	目標	317
		実績	315	実績	317
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—
		目標	—	目標	—
		実績	—	実績	—

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(大山田温泉福祉公社)
2 配置(予定)人員	0 人
3 年間運営費	490,491 千円
4 市内の類似施設	鳥ヶ原温泉やぶつちの湯

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
温泉入浴者数	施設の適正な運営及び管理やサービスの向上は、温泉入浴者数に反映されると考え、本指標を採用。	人	目標 275,000 実績 248,004	目標 278,000 実績 219,506	250,000	250,000
経常利益	施設の適切な維持管理を行い、効率的に運営し、支出の減少(経費削減)に努めたかは、経常利益に反映されると考え本指標を採用。	千円	目標 32,045 実績 16,437	目標 35,000 実績 -22,336	0	1,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	市民の地域間交流、健康の増進、雇用についての民間サービスを補完するため。
有効性	2	利用者は減少しているが、従業員の地域雇用や、施設周辺地域の活性化になっているため成果に繋がっている。
達成度	4	事故休館はなく、事業実績の目標を達成した。
効率性	3	施設の修繕が多く、経費も増加している。今後は、年度別の修繕計画を立て、コスト削減に努める。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	変更	今後、さらに施設の修繕が見込まれ、財政的に厳しいということもあり、年度別の修繕計画を立て、優先順位や必要性を考える。よって、より利用しやすい施設になり、無駄な経費を削減できる。なお、オープン以来、温泉入浴者数は年々減少傾向にあるので、入浴者数を増加させるため、関西圏や中部圏へ積極的に集客の広報活動を行う必要がある。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	工事	修繕料		1,732	修繕料		2,007	修繕料		500	修繕料		500
		手数料		73				委託料		1,000	委託料		1,000
		工事費		998									
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	2,803	事業費計(A)	Σ	2,007	事業費計(A)	Σ	1,500	事業費計(A)	Σ	1,500
事業投入人員		人件費(B)	1.0	人 7,200	人件費(B)	1.0	人 7,200	人件費(B)	1.0	人 7,200	人件費(B)	1.0	人 7,200
フルコスト (A)+(B)				10,003			9,207			8,700			8,700

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	2,803	2,007	1,500	1,500
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
一般財源	計	2,803	2,007	1,500	1,500
	計	2,803	2,007	1,500	1,500
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等				